

デュラフォールド組立式スクリーン

DURAFOLD

取扱説明書



■ 対応サイズ

4:3 (ビデオサイズ)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 100インチ | <input type="checkbox"/> 180インチ |
| <input type="checkbox"/> 120インチ | <input type="checkbox"/> 210インチ |
| <input type="checkbox"/> 150インチ | <input type="checkbox"/> 240インチ |

16:9 (HDTVサイズ)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 120インチ | <input type="checkbox"/> 147インチ |
| <input type="checkbox"/> 165インチ | <input type="checkbox"/> 193インチ |

※HDTVサイズのボーダーマスクは白色になります



ご注意

- 組み立てる前には本取扱説明書をよくお読みになり、組立手順の流れをつかんでから行ってください。
- 組立作業は手指のけがを防ぐため、滑りにくい手袋をはめて2名以上で行ってください。
- 組立作業は人が通らない場所を選び、周辺に充分気をつけて行ってください。
- スタンドを設置する場合は、スタンドが転倒することのないように平らな所で行ってください。
- スクリーンフレームやスタンドは、立てかけたまま放置しないでください。転倒する危険があります。
- 本製品は屋内用です。屋外での組立及び設置はしないでください。
- 屋内であっても強い風が吹き込むような場所での組立及び設置はしないでください。
- キズやほこりの付着を避けるために養生シートなどを敷設して作業してください。
- フレームにぶら下がったり、スクリーン生地にもものを描いたりしないでください。

組立 前に

- 張り込み作業は、床よりも机や台などの上で行う方が張り込みやすくなります。
- 冬季は、あらかじめ暖かい部屋に置いておく方が比較的張り込みやすくなります。

◆スクリーン組立方法

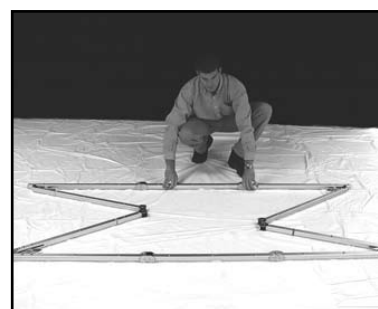
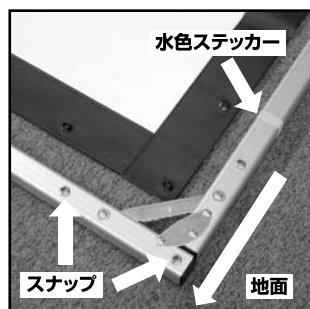
I キャリングケースから各パーツを取り出します

生地収納袋、スクリーンフレーム、スタンド、ネジ(蝶ネジ又はクランクネジ)袋がおさめられています。

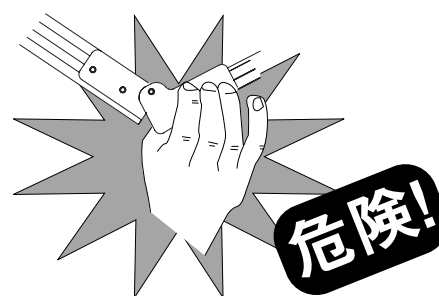
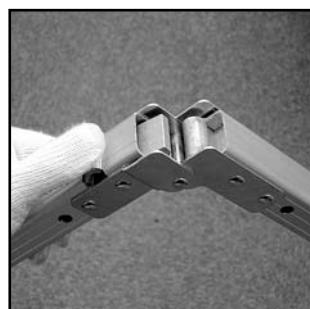


II スクリーンフレームを組み立てます

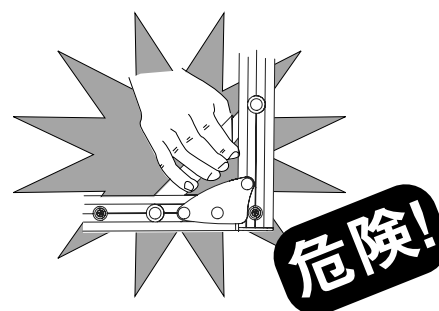
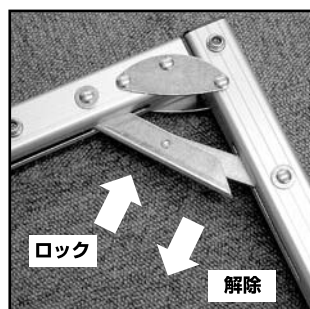
- ①スクリーンフレームを広げ、スナップのある側を表にして床または机の上に置きます。
(床の場合は生地へのキズやホコリの付着を避けるために養生シートなどを敷設して作業してください)
- ②フレームの上下はフレームに貼ってある水色ステッカーが下(地面側)です。



- ③スクリーンフレームは、すべてヒンジでつながっています。
ヒンジ部分はまっすぐにするだけでロックがかかりますが、指をはさまないように十分注意してください。



- ④スクリーンフレームのコーナー部分をロックします。
ロックをする時は指をはさまないように十分注意してください。

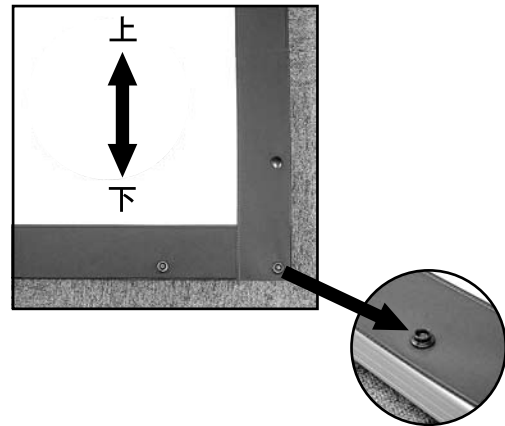
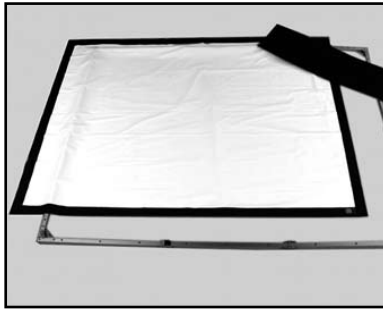


Ⅲ スクリーン生地を広げフレームにスナップを固定します



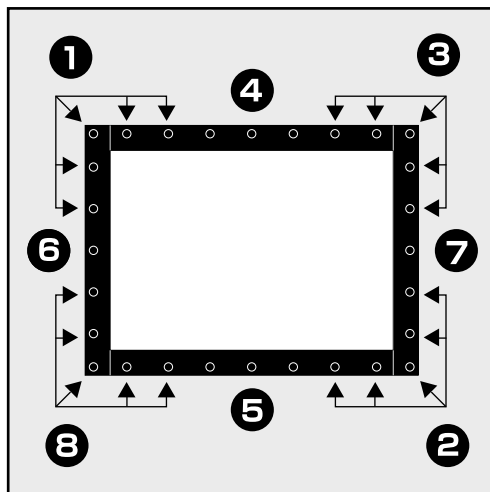
スクリーン生地はフレームのすべてのロックがかかっていることをよく確認してから張り込んでください。スクリーン生地の張力でフレームが折り込まれてしまうことがあります、大変危険です。

- ①生地を広げフレームと重ねます。
スクリーン生地の上下は生地の長辺に背の高いスナップがついている方が下(地面側)です。



- ②スナップを固定する順序は四隅のコーナー部分の3ヶ所(①～③)を最初に留め、次にフレームの中央部分(④～⑦)を留めるようにします。最後に4ヶ所目のコーナー部分(⑧)を留めます。

手順①～⑧



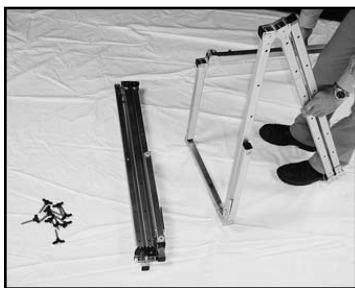
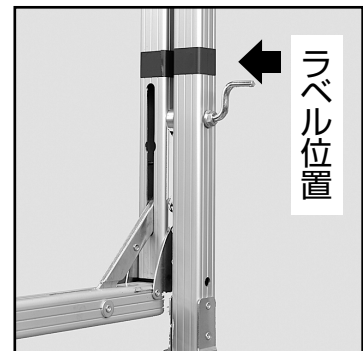
冬季は、あらかじめ生地を暖かい部屋に置いておくと比較的張り込みやすくなります。(P6を参照)

IV スクリーンスタンドを組み立てます

- ①スクリーンフレームと同様の組み立て手順です。
 スタンドとスクリーンフレームは付属のネジ(蝶ネジまたはクランクネジ)で固定します。
 カラーラベルの色と位置に合わせて「標準的な高さ」になります。

「標準的な高さ」

- ・100～210インチの場合、スクリーンフレーム下端から地面まで約128cm、スクリーンは約15cm毎ピッチで「標準的な高さ」から上に3段、下に7段高さ設定が可能です。
- ・240インチの場合スクリーンフレーム下端から地面まで約97cm、スクリーンは約15cm毎ピッチで「標準的な高さ」から上に2段、下に6段の高さ設定が可能です。



- ②セットされたスクリーンとスタンドを立ち上げます。

警告 スクリーンを高い位置に上げて設置される場合は、必要に応じてフレームのワイヤー固定やおもりの設置を検討するなど、万一の倒壊や不慮の事故に配慮した設置方法をお願いいたします。



※HDTVサイズのポードーマスクは白色になります ※強化スタンド仕様には、付属の揺れ止め補強を取り付けてください

- ※180～240インチの各モデルに付属のスタンドには背面の補強バーが追加され、補強バーの調整でスクリーンの傾きを調整することができます。



150インチ以下のスクリーン用「標準スタンド」



150インチ超のスクリーン用「強化スタンド」

◆スクリーンを収納するには

I スタンドを倒し、スクリーン生地をはずします

- ① フレームからスナップをはずし、ホコリや汚れを避けるためにスクリーンの表面が内側になるように折りたたみ、収納袋にていねいに収めます。

II スタンドのネジ(蝶ネジまたはクランクネジ)をはずしてスタンドとフレームを折りたたみます

- ① ヒンジロック部分を押し、ロックをはずし、折りたたみます。コーナー部分は引っ張ってロックをゆるめます。付属のネジは紛失しないようネジ袋に入れ、キャリングケースに収納します。

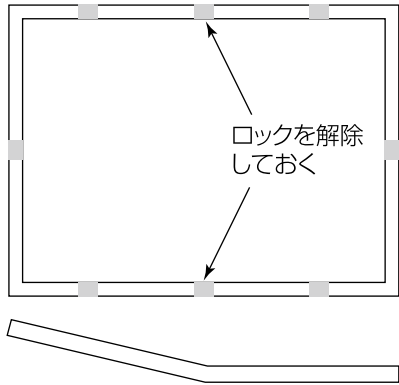
III キャリングケースに収納します

- ① キャリングケースにはフレームとスタンドを先に収納し、スクリーン生地収納袋をその上にのせます。



◆冬季ご使用時、生地の変縮により張りにくい場合 下記方法にて生地の変縮を解消してください

- ①スクリーンフレームは、すべてヒンジでつながっています。
ヒンジ部分はまっすぐにするだけでロックがかかりますが、
その際谷側のロックは解除しておきます。



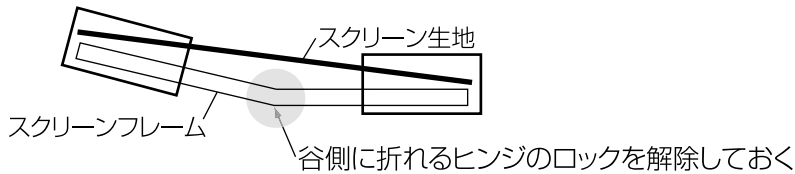
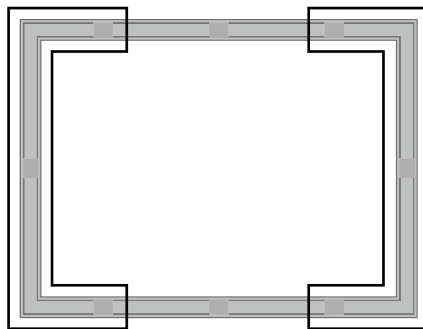
■ヒンジ部分

※スクリーンサイズによりヒンジ部分が中央にない場合があります。

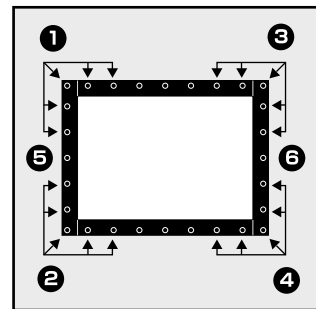
- ②スクリーン生地を広げフレームと重ねます。
スクリーン生地の上は生地の長辺に背の高いスナップが
ついている方が下(地面側)です。
- ③先にも下図で囲まれた範囲のスナップを固定します。
短辺のスナップを①～⑥の順番にすべて留めてください。

冬季は、あらかじめ生地を暖かい部屋に
置いておくと比較的に張り込みやすくなります。

注意 スクリーン生地は、力まかせに張るとスナップ部や
接合部付近の生地が破れてしまい補修が困難です
のでご注意ください。



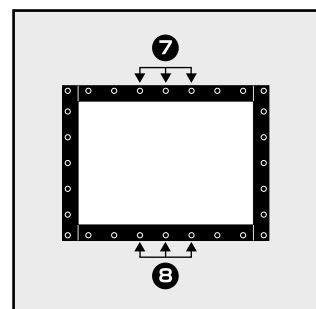
手順①～⑥



- ④両方の短辺を留めたら、ゆっくりとスクリーンフレームを伸ばし
谷側に折れているヒンジ部にロックをかけます。
最後にスナップ⑦～⑧の順番にすべて留めてください。

注意 この時、スクリーンフレームを急激に伸ばしますと
スナップや生地が破損する可能性がありますので
十分ご注意ください。

手順⑦～⑧



製品保証規定

■ 保証内容

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な仕様状態で故障した場合には、無償修理させていただきますので、弊社またはお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、輸送による場合は弊社までの送料のご負担をお願いいたします。

■ 無償保証範囲

製品が故障した場合、お客様はお買い上げの日より一年間において、弊社に対して無償修理を依頼することができます。

ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。

- 1) 故障した商品をお送りいただけない場合。
- 2) 弊社が動作保証するとして指定した機器以外でご使用の場合。
- 3) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- 4) 火災・水害など天変地異などより故障した場合。
- 5) 輸送中の振動・落下により故障・破損した場合。
- 6) 弊社製品以外の製品に起因しての故障の場合。
- 7) 弊社以外で修理・調整・改造された場合。

■ 有効範囲

本製品保証規定では本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束いたしません。従ってこの製品保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社までご相談ください。

記載された内容は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

<http://www.avc.co.jp/>

AVC 株式会社
映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■ システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階
<関西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144